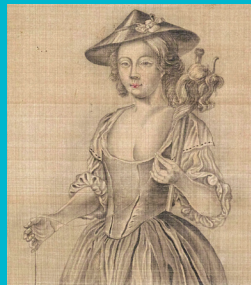


KOBECITYMUSEUM RENEWAL OPEN 2019.11.2.SAT.



手彫り薩摩切子
紫色被せ脚付ガラス杯



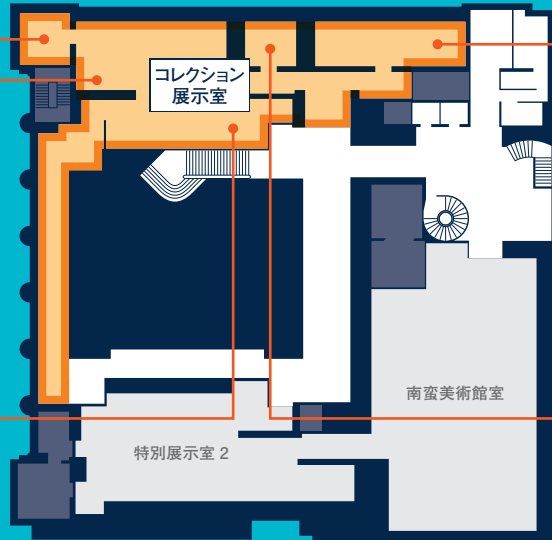
石川大浪筆 紅毛婦女図(部分)



日本地図屏風



上：ミュージアムカフェ、下：ミュージアムカフェ(特別室)



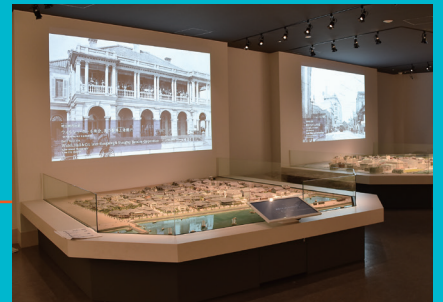
国宝 桜ヶ丘銅鐻・銅戈

全て神戸市立博物館蔵

詳しくは裏面へ



重要文化財 聖フランシスコ・ザビエル像(部分)



神戸の歴史展示室

新しくなって、また会えるね。



JR「三ノ宮」駅、阪急・阪神「神戸三宮」駅、
神戸市営地下鉄(西神・山手線)、
ポートライナー「三宮」駅から南西へ徒歩約10分。
JR、阪神「元町」駅から南東へ徒歩約10分。
神戸市営地下鉄(海岸線)「旧居留地・大丸前」駅から
南東へ徒歩約8分。
新幹線「新神戸」駅から神戸市営地下鉄(西神・山手線)
乗換え、「三宮」駅下車。
神戸空港からポートライナーで
「三宮」駅下車。



〒650-0034 神戸市中央区京町24番地
TEL 078-391-0035 FAX 078-392-7054
<http://www.city.kobe.lg.jp/museum/>

神戸市立博物館ホームページ



公式Twitter・Facebook @kobemuseum

1982年(昭和57)の開館後、初のリニューアル。

1階・2階の常設展示部分を、ゾーニングから展示内容まで、全面的に刷新しました。

1階の見どころ

1階は **入場無料!!**

神戸の歴史展示室

これまで1階と2階に分かれていた常設展示室を集約し、「神戸の歴史展示室」として再編。神戸の海・港を介して営まれてきた文化交流の実態と、それらが歴史に与えた影響について、時代順に学ぶことができます。

4つのコーナーで紹介

- 「海の回廊 東アジアとの交流」
- 「大輪田泊から兵庫津へ」
- 「兵庫津の繁栄」
- 「開港 世界との交わり」

Check! 兵庫津模型

江戸時代に港町として繁栄した兵庫のまち。町絵図や絵画資料をもとに復元した、鍛冶屋町、宮前町付近の模型の中に、人々の生き生きとした暮らしぶりを再現しています。



荷物の陸あげ



魚市場

Check! 明治時代、昭和時代の居留地デジタル模型

1868年(慶応3)の神戸開港に伴い設けられた神戸外国人居留地は、外国人が居住と営業を許可された地域です。

西洋風の商館や住宅が並ぶ明治時代中期の居留地と、高層の重厚なビルが並ぶ昭和時代前期の旧居留地の模型を映した画面を操作し、当時の街並み散策の疑似体験ができます。



海岸通



コーベ・クラブ

Check! 神戸開港シアター

大画面のスクリーンに美しいイラストで描かれる、開港後の神戸の「きらめき」を伝えるオリジナルストーリー。

地域文化財展示室

定期的にテーマを変えながら、神戸の歴史を語るうえで欠かせない資料を展示します。

ミュージアムカフェ

博物館の建物が造られた1935年(昭和10)の雰囲気を生かした、アール・デコ的な機能美が心地よい、レトロモダンな空間です。明治時代の異人館「トムセン邸」の部材を使用した特別室もオープンします。

情報コーナー

博物館のコレクション、近世・近代神戸の景観資料、市域の史跡や関連施設等を検索できます。

各種映像コンテンツなどもご利用いただけます。

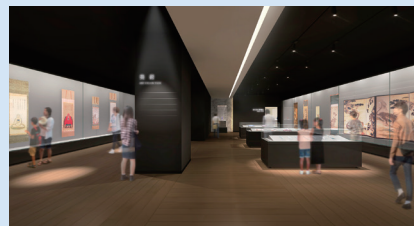
2階の見どころ

コレクション展示室

「東西文化の接触と変容」をテーマとして収集されてきた当館のコレクション約70,000点の展示活用は、お客様からのご要望も多く、また、当館にとっての念願でもありました。

このたび2階南側及び東側に、桜ヶ丘銅鐸・銅戈、聖フランシスコ・ザビエル像、考古・歴史、古地図、美術、びいどろのコレクションを展示するコレクション展示室を新設しました。

国宝桜ヶ丘銅鐸・銅戈、聖フランシスコ・ザビエル像のための専用展示室でもできました。その他のスペースでは、年数回テーマを設定して、さまざまなコレクションを紹介いたします。



コレクション展示室(完成イメージ)

Check! 国宝銅鐸がどこからでも。

桜ヶ丘銅鐸・銅戈展示室では、教科書にも登場する国宝の絵画銅鐸を360度から楽しめます。銅鐸14点、銅戈7点を常時ご覧いただけます。 ※他館への貸出時を除く

Check! ザビエルをさらに身近に。

聖フランシスコ・ザビエル像は、日本にはじめてキリスト教を伝えた偉人の肖像として教科書などでもおなじみです。

専用の薄型ガラスケースを設置し、いつでも至近距離から、細部までを詳しく鑑賞できます。

※資料保存の必要上、オリジナル作品の展示は年間2ヶ月以内、期間外は複製画を展示

〈より多くの人にやさしい博物館に〉

- 授乳室の設置、トイレの改修など、各種アメニティを整備しました。
- 特別展・企画展を随時開催。リニューアル前と同じく、2階・3階の南蛮美術館と特別展示室を使用して開催します。
- ミュージアムショップ、体験学習室も全面改修しました。

これからの特別展

2019年 11/2~12/22	神戸市立博物館名品展 —まじわる文化、つなぐ歴史、むすぶ美—
2020年 1/11~3/1	建築と社会の年代記 —竹中工務店400年の歩み—
2020年 3/28~6/21	コートールド美術館展